No. 2

2005（平成17年）

4月15日号

主な内容

みんな今日からおともだち

4月6日、市内各小学校で入学式が行われました。期待と不安で臨んだ入学式では、みんなちょっと緊張気味。でも式が終わるとみんな元気いっぱい、教室は笑顔であふれていました。明日からいっしょに勉強がんばろうね！

おもいやり、ゆずりあい 交通安全はみんなの願い

入園や入学、就職で新たな生活がスタートする春。外での活動が増え、道路を行き交う自動車の交通量も増えるこの季節は交通事故の発生も多くなりがちです。
皆さん、急がずに、マナーとゆとりで交通安全に努めましょう。

▲春の交通安全運動は「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本としています。ドライバーの皆さん、おもいやりとゆずりあいの気持ちで事故防止を!!

おもいやり、ゆずりあいで事故防止に努めましょう

交通事故のない明るく住みよい社会は、市民みんなの切なる願いです。車を運転する方も、歩行者の方も、お互いに相手をおもいやる気持ちを持ち、交通ルールと交通マナーを守って交通事故のない男鹿市をめざしましょう。

ドライバーの皆さん、子どもや高齢者、自転車に配慮した運転をし、スピードを抑えた思いやりのある運転を心がけましょう。また、夕暮れ時には早めにライトを点灯するなどして事故防止に努めましょう。

歩行者の皆さん、道路を横断する時は、左右の安全を良く確認して横断歩道を横断し、また、夕暮れ時には明るめの目立つ服の着用や反射材などを活用して事故防止に努めましょう。

交通安全を願い 春の交通安全運動を実施

4月6日から15日までの10日間『急がずに、マナーとゆとりで交通安全』のスローガンのもと『子どもと高齢者の事故防止』を運動の基本として3つの重点目標を定めて春の交通安全運動が行われました。

市では、交通事故防止の徹底を図るため、街頭での交通指導や広報啓発活動などで交通安全運動を展開しました。

また、男鹿警察署では、街頭指導や交通安全フェスティバル、パレード、若年・高齢者を対象にした体験型の自動車講習会を実施して交通安全を呼びかけました。

【春の交通安全運動3つの重点目標】

- 二輪車の安全利用の推進
- シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の徹底追放

▲ドライバーの皆さんに安全運転を呼びかけました。

飲酒運転を徹底的に追放

飲酒運転を撲滅しようと、毎年強力に飲酒運転追放運動を展開しているにもかかわらず、違反者が跡をたちません。（全県規模で行われている平成16年の飲酒運転追放競争は、旧男鹿市が57位、旧若美町が65位と残念な結果に終わっています）

「自分は大丈夫」「少ししか飲んでいないから」などと安易な気持ちでハンドルを握った結果、待っているのは、厳しい罰則と社会的信用の失墜です。

お酒を飲んでからの運転は、どんな理由があろうとも決して許されるものではありません。悪質な犯罪行為である飲酒運転は重大事故につながり、その結果どれだけ多くの人たちが犠牲になり涙を流したことか、その悲しみははかり知れません。

お酒を飲む人も飲まない人も「飲酒運転は絶対にしない、させない」と強く心に決め、家庭や地域から飲酒運転を徹底的に追放しましょう。

▲ストップ!!
酒飲んでからの運転は許さねど!!

シートベルト・チャイルドシートは正しく着用しましょう

シートベルトの着用で、もしもの時の危険を軽減できます。ドライバーも、同乗者も車に乗ったら必ずシートベルトを着用する習慣を付けましょう。

２０００年４月１日より、幼児（6歳未満）へのチャイルドシート（ジュニアシートなど）の使用が義務付けられています。

車の走行中は、パパやママの抱っこでは防ぎきれない危険が多くあります。チャイルドシートは、子どもを守る大切なシートベルトです。もしもの時のために、子どもの体に合ったものを選び、正しく取り付けて事故防止に努めましょう。

市ではチャイルドシートの購入費の一部を補助しています

●**補助を受けられる方**／男鹿市に住所を有する方で、購入申請時に1歳未満の乳児をもつ保護者の方。※1歳までの乳児1人につき1回に限ります。

●**補助される金額**／購入金額（消費税を除く）の2分の1（上限は1万円）。

●**補助対象製品**／国土交通省の認証マークがある製品。※新品に限ります。

●**申し込みに必要なもの**／印鑑、保護者名義の口座番号（郵便局以外）、領収書または購入証明書、取扱説明書、保証書

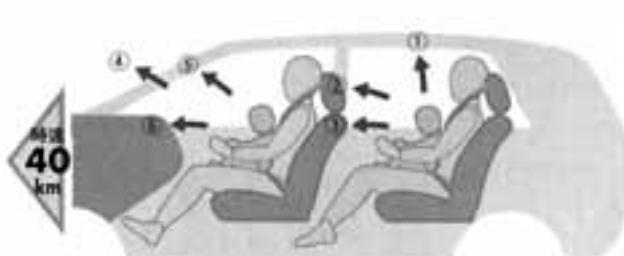
▼**お問合わせ**／**環境防災課**
☎(23)2111　内線2805

もしもの時に備え チャイルドシートの着用を!!

人の腕で赤ちゃんを支えられるのはせいぜい時速5～7km（から急停止した時）ぐらいまでだといわれています。いくら力一杯抱き止めようとしても、腕をすり抜け、飛び出していってしまうのです。

時速40km

走行中壁に正面衝突すると

時速40kmで壁にぶつかる瞬間、5.5kg（生後2、3カ月頃）の赤ちゃんが110kgの重さになり、人間の力では支えておくことはできません。

助手席ならダッシュボードに激突したり、フロントガラスを突き破って外へ。車外へ放り出されると命を落とす危険性が一気に高まります。後部座席の場合は天井や前の席の背にぶつかったり、同じく車外へ放出されることも。

自然・文化・食を大切にする観光交流都市を目指し

男鹿市議会スタート

議長に 杉本博治氏
副議長に 佐藤善市郎氏

新「男鹿市」誕生後の初の市議会臨時会が、４月４日・５日に開かれ、正・副議長、各常任委員会と議会運営委員会の構成、議会選出の各委員などが決定されました。

市議会臨時会には、市民の代表者として自然・文化・食を大切にする観光交流都市を目指し、市の発展に尽くす37名の議員が晴れやかに初登庁。受け付けを終えた後、初議会に臨みました。

無記名で行われた正・副議長選挙では、議長に杉本博治氏、副議長に佐藤善市郎氏が選ばれ、新体制で市議会がスタートしました。

常任・議会運営委員会構成

◎は委員長　○は副委員長
－ 敬称略 －

【常任委員会】

●総務委員会

◎高野寛志　○戸部幸晴
佐藤巳次郎　佐藤寿男　高桑國三
三浦一郎　夏井清勝　船橋金弘
船木重秋　船木　茂　吉田清孝
佐藤善市郎　船木正博

●教育厚生委員会

◎竹村健一　○笹川圭光
大渕與吉　鎌田清太郎　相澤哲夫
杉本博治　吉田清美　木元利明
中田俊雄　三浦利通　佐藤美子
安田健次郎

●産業建設委員会

◎越後貞勝　○古仲清紀
柳楽芳雄　畠山富勝　佐藤俊一
加藤春吉　吉田孝一郎　小松穂積
中田謙三　三浦悦朗　中田敏彦
大森勝美

杉本博治議長の略歴

昭和50年に旧男鹿市議会議員初当選。

平成３年５月から副議長、平成７年10月から平成11年４月、平成13年５月から平成15年４月、平成15年５月から合併時まで議長を歴任。

五里合神谷字向谷地62番地　74歳

佐藤善市郎副議長の略歴

昭和56年に旧若美町議会議員初当選。

平成３年４月から平成５年３月まで社会開発常任委員長、平成９年４月から平成11年３月まで総務副委員長、平成13年４月から合併時まで議長を歴任。

角間崎字百目木４番地　68歳

【議会運営委員会】

◎吉田清孝　○小松穂積
柳楽芳雄　古仲清紀　佐藤美子
船木　茂　中田謙三　竹村健一

【男鹿地区消防一部事務組合議会議員】

佐藤巳次郎　大渕與吉　木元利明
三浦一郎　吉田孝一郎　越後貞勝
船木正博　柳楽芳雄　鎌田清太郎
竹村健一　高桑國三

【男鹿地区衛生処理一部事務組合議会議員】

夏井清勝　中田敏彦　中田俊雄
戸部幸晴　船木重秋　古仲清紀
船橋金弘　安田健次郎　佐藤美子
笹川圭光

【八郎湖周辺清掃事務組合議会議員】

吉田清孝　佐藤寿男　船木　茂
相澤哲夫　中田謙三　吉田清美

【大潟地区衛生処理組合議会議員】

小松穂積　佐藤俊一　加藤春吉

4月 市議会臨時会

２日間にわたって行われた市議会臨時会では、男鹿市役所の位置を定める条例ほか１９４件の条例や、平成16年度・平成17年度男鹿市一般会計暫定予算、各特別会計暫定予算などの専決処分31件が審議され、いずれも原案通り承認されました。

また、臨時会で佐藤文衛男鹿市長職務執行者が「３月22日、男鹿市と若美町が合併し新男鹿市が発足しましたが、両地域の新たな連携に温かいご理解とご協力を賜りました議員各位と両市町の皆さんに心から感謝とお礼を申し上げます。新生男鹿市が一日も早く地域一体となり、その真価を発揮し、さらなる飛躍を遂げるため、引き続き皆さんのご協力を賜りますようお願い申し上げます」とあいさつをしました。

臨時会で可決された主な議案を紹介します。

主な議案

▼男鹿市役所の位置を定める条例ほか１９４件の条例の専決処分

３月22日の合併により、男鹿市役所の位置や行政組織、若美総合支所設置など、１９４件の条例を定めました。

▼平成16年度男鹿市一般会計暫定予算の専決処分

３月22日の合併により、新たに男鹿市が設置されたことに伴う、暫定予算を措置したもので、歳入歳出の暫定予算総額は39億３０５０万円となりました。

▼平成16年度男鹿市国民健康保険特別会計暫定予算の専決処分

３月22日の合併により、新たに男鹿市が設置されたことに伴う、暫定予算を措置したもので、歳入歳出の暫定予算総額は６億６１６２万１０００円となりました。

▼平成16年度介護保険特別会計暫定予算の専決処分

３月22日の合併により、新たに男鹿市が設置されたことに伴う、暫定予算を措置したもので、歳入歳出の暫定予算総額は４億１９７８万７０００円となりました。

▼平成16年度下水道事業特別会計暫定予算の専決処分

３月22日の合併により、新たに男鹿市が設置されたことに伴う、暫定予算を措置したもので、歳入歳出の暫定予算総額は７億９２３１万９０００円となりました。

▼平成16年度男鹿みなと市民病院事業会計暫定予算の専決処分

３月22日の合併により、新たに男鹿市が設置されたことに伴う、暫定予算を措置したもので、収益的収入で６２７４万６０００円、収益的支出で５５１８万１０００円となりました。

▼平成16年度男鹿市上水道事業会計暫定予算の専決処分

３月22日の合併により、新たに男鹿市が設置されたことに伴う、暫定予算を措置したもので、収益的収入で３９８４万６０００円、収益的支出で２７５５万３０００円となりました。

▼平成16年度男鹿市ガス事業会計暫定予算の専決処分

３月22日の合併により、新たに男鹿市が設置されたことに伴う、暫定

予算を措置したもので、収益的収入で5915万4000円、収益的支出で3210万2000円となりました。

▼平成17年度男鹿市一般会計暫定予算の専決処分

4月1日からの新年度暫定予算（4月から6月までの分）を措置したもので、歳入では51億5844万4000円、歳出では53億5844万2000円となりました。

▼平成17年度男鹿市国民健康保険特別会計暫定予算の専決処分

4月1日からの新年度暫定予算（4月から6月までの分）を措置したもので、歳入では5億3804万9000円、歳出では7億5929万8000円となりました。

▼平成17年度介護保険特別会計暫定予算の専決処分

4月1日からの新年度暫定予算（4月から6月までの分）を措置したもので、歳入では4億7635万円、歳出では4億3562万1000円となりました。

▼平成17年度下水道事業特別会計暫定予算の専決処分

4月1日からの新年度暫定予算（4月から6月までの分）を措置したもので、歳入では4365万3000円、歳出では7197万4000円となりました。

▼平成17年度男鹿みなと市民病院事業会計暫定予算の専決処分

4月1日からの新年度暫定予算（4月から6月までの分）を措置したもので、収益的収入で7億6086万1000円、収益的支出で6億3964万7000円となりました。

▼平成17年度男鹿市上水道事業会計暫定予算の専決処分

4月1日からの新年度暫定予算（4月から6月までの分）を措置したもので、収益的収入で1億5691万1000円、収益的支出で1億555万4000円となりました。

▼平成17年度男鹿市ガス事業会計暫定予算の専決処分

4月1日からの新年度暫定予算（4月から6月までの分）を措置したもので、収益的収入で1億6918万2000円、収益的支出で1億5112万1000円となりました。

▼男鹿市指定金融機関の指定の専決処分

男鹿市の指定金融機関を、株式会社秋田銀行に指定しました。

さけの稚魚３万匹放流

北陽小学校で少年水産教室開催

４月７日、北陽小学校で少年水産教室が行われ、５年生25名が『さけの稚魚』の放流を行いました。この放流は、県の沿岸漁業担い手活動推進支援事業の一環として行われていて、北陽小学校では毎年３月の下旬から４月の上旬にかけて学校近くの川で『さけの稚魚』を放流しています。

児童たちは、野村川鮭ふ化場近くの川で持ってきたバケツに稚魚を入れてもらい「元気に戻ってこいよ」「がんばって泳いでね」と声をかけて、やさしくそっと川に放しました。放流した後、県水産振興センターの船木普及員から放流を行う目的やさけの一生について説明され、興味深く聞き入っていました。

この日放流された『さけの稚魚』は３万匹。遠くベーリング海まで回遊し、大きく育って３～５年後にはこの川のにおいをもとに戻ってきますが、無事に戻れるのは0.2㌫程だそうです。児童達はこの放流を通して、命の尊さや生命の神秘、自然の厳しさを学びました。

▲児童たちは、大きな海へ旅立った稚魚を見えなくなるまでやさしく見守っていました。

交通安全運動を盛り上げ

交通安全フェスティバル開催

４月９日、市役所前の駐車場を会場に「交通安全フェスティバル」が開催されました。

セレモニーでは、交通安全運動に尽力された地区交通安全協会や団体へ感謝状が贈られたあと、男鹿地区交通安全協会羽立支部の松橋ミヤさん（羽立）が「交通事故を少しでも減少させるため、交通ルールを守りお互いに協力しあって交通事故に遭わないようにすることを誓う」と交通安全の誓いを述べました。

会場には、子どもに人気のパトカーの体験乗車や警察官の制服が着れるコーナーが用意されていて、憧れの制服に身を包みパトカーに乗って記念撮影する姿が見られました。

春の交通安全運動は15日までの実施ですが、ふだんから「ゆずりあい」と「相手をおもいやる」気持ちを持って交通安全を心がけましょう。

▶ルールとマナーを守って安全運転してね!!

▶多くの関係者が出席して行われました。

お近くの話題や催しなどを教えてください。企画政策課 広報統計係 ☎23-2111 内線3107

湖岸や道路脇からのごみの総重量5.5トン

若美地区で八郎湖クリーンアップ作戦実施

▶早朝から多くの方が参加し、若美地区全体で、5.5トンのごみが集まりました。

4月10日、若美地区で八郎湖クリーンアップ作戦が行われました。

若美地区では、昨年から4月の第2日曜日に県で実施している「あきた・ビューティフルサンデー」に併せて実施しており、早朝から多くの市民が湖岸農面道や市道、県道の側溝に落ちているごみを集めました。

道路脇には、車の窓から捨てられたと思われる空き缶や空きびん、ビニール袋などが多く見られました。湖岸には、魚釣りのエサの袋や弁当の容器、空き缶・ペットボトルが見られ、また、車のバッテリーやタイヤ、木材などの産業廃棄物や大きな段ボール箱など、不法に投棄されたものもありました。

八郎湖の湖水は、農業用水や水道用水などに利用されていて、私たちの暮らしから切り離せない貴重な資源です。水質汚濁や環境破壊を防ぐため、今一度一人ひとりが「ごみのポイ捨て・不法投棄は絶対にしない」という強い意志を持って、住みよい環境づくりに努めましょう。

初めて聞く音色にうっとり…

デイサービスで琵琶の弾奏

3月29日に中央デイサービスセンター（船川）で、秋田市の琵琶全国一水会所属の鷹觜(たかのはし)さんが、デイサービス利用者に琵琶の歴史についてのお話や、琵琶の弾奏にあわせた「秋田フキ娘」「八郎」を感情のこもった秋田弁で披露しました。

デイサービスの利用者は、初めて聞く琵琶の音色に耳を傾け聞き入っていました。

▶会場には、琵琶の音色が響いていました。

元気に新生活スタート!!

市内で入学式・入園式

▶元気よく「ハイッ!!」と体育館に大きな声が響きわたりました。

4月6日に市内の小中学校で入学式が、7日に幼稚園・保育園で入園式がそれぞれ行われました。

式では、緊張した様子の新入生たちでしたが、しっかりとしたまなざしは、これから始まる新しい生活へと向けられていました。

1日も早く新しい環境に慣れて、お友達をたくさんつくって学校生活・園生活を楽しんでくださいね。

代表番号
男鹿市役所
☎23-2111
若美庁舎
☎46-2111

男鹿市臨時職員の登録について

市では雇用の適正化・効率化を図るため、臨時職員について登録制度を導入しています。

【職務内容】
①パソコンなどを用いた事務の補助
②保育士および幼稚園教諭の業務補助（保育士または幼稚園教諭の免許取得者）
③保健師の業務補助（保健師または看護師の免許取得者）

【賃金】日額5000円（所得税・社会保険料などを含み通勤手当は支給しない）ただし、職務内容が②および③の職種にあっては別に定める。

【雇用期間】応募者を名簿に登載し、その中から平成17年度の必要な期間（原則として6カ月以内）

【応募資格】
・男鹿市に住所（住民登録）を有する方（職務内容②および③については市外でも可）
・高等学校卒業程度以上の学力を有していること

【募集期間】随時

【申込用紙】総務企画部総務課および若美総合支所、各出張所にあります。市のホームページにも申込用紙を掲載してあります。

【提出方法】本人持参、または郵送

【提出先】
〒010―0595
男鹿市船川港船川字泉台66―1
男鹿市総務企画部総務課職員係

▼問い合わせ／総務課
☎(23)2111内線3207

特別障害給付金制度知っていますか

国民年金の任意加入期間に加入しなかったことにより、障害基礎年金などを受給していない障害者の方に、国民年金制度の発展過程において生じた特別な事情にかんがみ、福祉的措置として「特別障害給付金制度」が創設されました。

【支給対象】
①平成3年3月以前に国民年金任意加入対象の学生
②昭和61年3月以前に国民年金任意加入対象の厚生年金・共済組合などの配偶者

①または②に該当し、任意加入していなかった期間内に初診日があり、障害基礎年金1級・2級相当の障害に該当し、65歳に達する日の前日までに当該障害状態になった方。

【支給額】
・障害基礎年金1級に該当する方　月額5万円
・障害基礎年金2級に該当する方　月額4万円

詳しくはお問い合わせください。

▼問い合わせ／市民課
☎(23)2111内線1208

特定計量器定期検査を行います

取引および証明に使用する計量器は検査が必要です。検査を受けていない計量器を使用した場合、50万円以下の罰金に処される場合がありますので注意してください。

検査には手数料（秋田県収入証紙）、印鑑および検査通知書が必要です。

※秋田県収入証紙は、あたらしや（船川）・男鹿地区交通安全協会（男鹿警察署内）で販売しています。

▼問い合わせ／商工港湾課
☎(23)2111内線2125

地区	月日	時間	場所
若美	5月16日(月)	13時30分～15時00分	若美コミュニティセンター
船越・脇本・五里合	5月17日(火)	10時00分～11時30分	脇本出張所
北浦・戸賀・男鹿中	5月17日(火)	13時30分～15時30分	北浦出張所
船川・椿	5月18日(水)	10時00分～12時00分 13時00分～14時00分	市役所1階市民ホール

離職者の雇用に奨励金を交付します

市では4月1日から6月30日までの間、60歳未満の市内に居住する非自発的離職者を常用雇用した場合、事業主に再就職緊急支援奨励金を交付します。

【対象】市内に事業所を有し、雇用保険に加入していて、過去6カ月間に事業主の都合による解雇者がなく、労働基準法などの労働関係法例に従い、雇用契約を結んでいる事業主。

【手続き】雇い入れの日から起算して3カ月を経過した後、1カ月以内に、商工港湾課にある所定の申請書および請求書に「雇用保険資格取得等確認通知書の写し」と「出勤名簿（タイムカード）、賃金台帳、労働者名簿の写し」を添えて提出してください。

※なお、期間を過ぎると申請できませんので、お早めにご相談ください。

▼問い合わせ／商工港湾課

☎(23)2111内線2124

工場などの新(増)設に助成を行っています

市では「商工業振興促進条例」により工場、研究施設または市長が特に認める施設を新（増）設する方に対し、必要な奨励措置を行っています。

【要件】

①平成18年3月31日までに新設、または増設したもの

②新たに雇用した常勤の従業員のうち、市内に住所を有する方が5人以上であること（年間通して、月平均5人以上であれば対象）

③投下固定資産総額が、2300万円を超えるもの

【内容】

・雇用奨励金…常勤の従業員1人につき年額10万円を交付（3年間300万円が限度）

・施設整備助成金…固定資産税納付額の範囲内で市長が定める額（操業翌年度から3年間）

・工場などを新設、または増設する方には、施設用地の選定、輸送施設の整備、労務の充足その他工場などの新設または増設に必要な援助を行います

※奨励措置を受けようとする方は、工場などの新設または増設工事に着手する前に、事業計画書を添えて奨励措置適用の指定申請書を市長に提出してください。

▼問い合わせ／商工港湾課

☎(23)2111内線2124

中小企業振興資金の融資をあっせんします

市では中小企業の経営に必要となる資金の融資をあっせんしています。

【資金使途】運転資金または設備資金

【保証限度】1000万円以内

【借入利率】2・20％（保証協会の定める率）

【保証期間】10年以内

【保証人】家族以外の県内に在住する方1名以上

▼問い合わせ／商工港湾課

☎(23)2111内線2124

ゴールデンウィーク中のごみ収集業務案内

	4月29日(金)	30日(土)	5月1日(日)	2日(月)	3日(火)	4日(水)	5日(木)
ごみ収集	通常通り	通常通り	休みます	通常通り	休みます	旧男鹿地区 休みます 旧若美地区 通常通り	休みます

※4月29日は祝日ですが、通常通りごみの収集を行います。

※旧男鹿地区・旧若美地区ともに上記日程となります。

※ごみは、収集日当日の朝8時までに、決められた場所に出してください。

▶問い合わせ／環境防災課 ☎23－2111 内線2807

環境建設課 ☎46－2113

清掃センター ☎24－3260

訃報

市功労者の加藤正三さんが、3月31日にご逝去されました。加藤さんは旧若美町の消防団長や町議会議員として地方自治の推進にご尽力され、昭和52年11月に自治功労者として表彰され、また、昭和61年4月には勲六等単光旭日章を授章されております。心よりごめい福をお祈りいたします。

訃報

市功労者の竹村竹雄さんが、3月28日にご逝去されました。竹村さんは旧若美町農業委員として地域の農業振興にご尽力され、平成12年11月に産業開発功労者として表彰されております。心よりごめい福をお祈りいたします。

募集

ホームヘルパー2級養成研修講座受講者募集

【受講対象】全課程の受講が可能で、次の要件を満たしている方。

①福祉の職場に就労を希望し、資格を取得したい方
②ボランティアとしての活動を希望する方
③高齢者を抱えて知識を必要としている方
④満50歳未満の方
⑤書類選考で合格した方

【募集人員】60名（現在募集中。定員になり次第締め切ります）
【研修日程】5月16日(月)～9月24日(土)まで
【研修会場】医療法人正和会（潟上市）
【受講料】3万5000円
詳しくはお問い合わせください。

▼問い合わせ
医療法人正和会
☎018－877－7110

日本語教室　受講生募集

【対象者】市内に外国人登録している方
【日時】4月23日～3月4日までの土曜日　10時～12時
【会場】脇本公民館
【内容】日本語の基礎と会話
【講師】小野恭子氏
【申し込み】4月22日(金)まで

▼問い合わせ／中央公民館
☎(23)－2251

秋田県農業研修センターで学ぼう

大潟村の県農業研修センターでは、一般の方も参加できる研修を実施しています。

◆園芸体験研修
【日時】4月29日(金)　13時30分～15時
【内容】サボテンや多肉植物の植え替えや株分け、手入れなど
【定員】20名
【受講料】1人500円
※定員になり次第締め切ります。詳しくはお問い合わせください。

▼問い合わせ
県農業研修センター
☎(45)3113

手話奉仕員養成講座

耳の不自由な方の自立と社会参加促進の手助けとなる、手話奉仕員の基礎課程養成講座を開講します。

【日時】5月12日～11月末までの毎週木曜日18時30分～20時30分(26回)
【会場】船川港公民館
【受講料】無料
【対象】高校生以上の方
【講師】県聴力障害者協会会員
【申し込み】5月6日(金)まで

▼問い合わせ／福祉事務所
☎(23)2111内線1509

お知らせ

男鹿市菅江真澄研究会・春の研修会

【日時】4月27日(水)　15時～16時
【会場】船川港公民館
【内容】講話『秋田街道フォーラムの奥に～「五風」と「をがさべり」をみる・知る～』
※どなたでもご自由に参加できます。

▼問い合わせ／男鹿市菅江真澄研究会事務局　安藤
☎(24)4265

家畜巡回検診

【日時】4月27日(水)10時～
【内容】家畜の健康管理や受胎の確認など
【検診料】無料
【申し込み】4月25日(月)まで

▼問い合わせ／農林水産課
☎(23)2111内線2206

地籍調査にご協力ください

平成17年度の地籍調査を次のとおり実施します。土地所有者の方は、現地調査の際、立会などにご協力ください。また、調査期間中、市職員および測量業者が調査地域内の土地に立ち入りますのでご了承ください。

【調査地域】五里合中石字十文字台
【調査期間】平成17年4月～平成18年3月（立会の日程は、後日個別に通知します）

▼問い合わせ／管財課
☎(23)2111内線2109

土砂災害の危険のある箇所を調査します

県が土砂災害の危険性がある場所を調査しますので、私有地への立ち入りについてご協力ください。

【調査期間】4月下旬～8月
【調査場所】下記地図の■部分の、道路から山側の範囲です。
【調査員】県の腕章を付け、身分証明書を携帯した者が調査します。

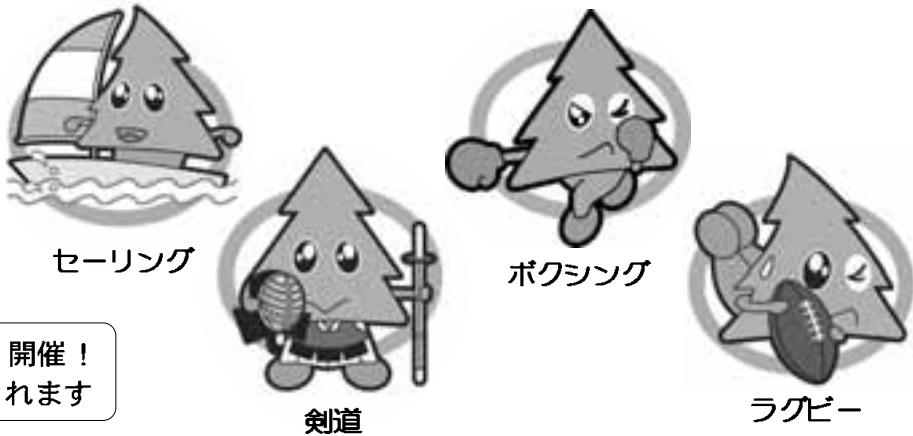
▼問い合わせ／秋田地域振興局建設部 河川砂防課
☎018－860－3482

児童虐待の通告先について

4月から児童虐待にかかる通告先として、新たに市町村が加えられました。

市でも窓口を福祉事務所に設置して対応していますのでご相談ください。また、障害児や非行など子どもにかかわる相談もお受けします。

▼問い合わせ／福祉事務所
☎(23)2111内線1503

君のハートよ位置につけ
秋田わか杉国体
2007 第62回国民体育大会

平成19年秋「秋田わか杉国体」開催！
男鹿市では右の４競技が開催されます

セーリング

剣道

ボクシング

ラグビー

お昼のチャイムが変わりました

３月22日からお昼のチャイムのメロディーが変わりました。

これは男鹿のイメージソングとして、平成13年度に入道崎で開催された「夕陽のコンサート」で一般公募された中から採用されました。作詞大場直利氏、作曲津雲優氏の「男鹿に寄せて」という曲です。お昼のひと時、皆さんもメロディーを楽しんでください。

なお、旧若美地域は５月１日からお昼のチャイムが変わります。

交通安全情報

３月中の交通事故の発生状況

	3月	今年の累計	昨年3月	昨年3月までの累計
発生件数	7件	20件	4件	23件
死者数	0件	0件	0件	1件
負傷者数	10件	27件	4件	27件

暖かくなったせいか、ぼんやり運転による交通事故が目立ちます。運転に集中するよう心がけましょう。

ポリオの予防接種を実施しています

【実施日】
①４月18日(月)
②４月25日(月)
③５月９日(月)

【会場】保健福祉センター

【受付時間】13時30分～14時

【対象地区】
①船越
②戸賀・北浦・男鹿中・脇本・五里合
③船川

▼問い合わせ／保健センター
☎(24)３４００

4月から男鹿南線のバス時刻が変わりました

（下り）

みなと病院発	男鹿駅発	男鹿海洋高校着	保養センター前発	門前着
※6:52	6:56	—	—	7:26
	※休8:10	8:18		
9:04	9:08	—	—	9:38
10:57	11:01	—	11:19	11:34
12:19	12:23	—	—	12:53
※13:49	13:53	14:01	—	14:26
14:42	14:46	—	15:04	15:19
※15:38	15:42	15:50	—	16:15
16:42	16:46	—	—	17:16
17:39	17:43	—	—	18:13
※18:41	18:45	—	—	19:15

（上り）

門前発	保養センター前発	男鹿海洋高校発	男鹿駅発	みなと病院着	元浜町発	男鹿工業高校着
6:38	—	—	7:08	7:12		
※7:22	—	7:47	—	—	7:54	8:11
7:38	—	—	8:08	8:12		
		※休8:18	—	8:28		
※8:20	—	—	8:50	8:54		
9:55	10:08	—	10:27	10:31		
11:50	—	—	12:20	12:24		
13:05	—	—	13:35	13:39		
※14:32	—	—	15:02	15:06		
15:19	15:32	—	15:51	15:55		
※16:15	—	—	16:45	16:49		
17:18	—	—	17:48	17:52		

※印：日・祝日・土曜日運休
休印：学校休校日運休

4月の更年期外来診療日

更年期特有の症状でお悩みの方は、秋田大学産婦人科田中教授の特別診療を受診してみませんか。

【日時】4月20日(水)　11時～14時

詳しくは産婦人科外来へお問い合わせください。

▼問い合わせ
みなと市民病院
☎(23)２２２１

〒010-0595 秋田県男鹿市船川港船川字泉台66の1
編集発行 男鹿市役所企画政策課

ホームページ http://www.city.oga.akita.jp/
TEL 0185-23-2111

ふるさとの地名その由来を訪ねて

ふるさと地名散歩 ①

西海岸の地名

男鹿半島の西海岸は断崖絶壁が続き、風光明美な所として観光地男鹿の見所の一つとなっていて、複雑な地形や数々の小島や暗礁、洞窟などが見られます。そしてそれには、それぞれに名称があり、江戸時代の嘉永五年（１８５２）、船越の鈴木重孝がまとめた『絹篩』という記録に、入道崎から門前まで１３０以上ものたくさんの地名が記載されています。その中からいくらかとりあげましょう。

勝平得司の版画「金ケ崎温泉」

まず、戸賀の北には浦島太郎がゆかりという「浦島」が、加茂青砂の北には海辺から湧き出ている温泉があった「金ケ崎」があります。また、昔裕福な者が住んでいたことが由来とされる「長者屋敷」という所も海岸部にありますが、何を元にして富を蓄えていることができていたのでしょうか。

同じく、南には石橋の下を船が通り抜けることができる「大さん橋」、昔鉱山があってたくさんの家があり栄えたという「芦ノ倉」、鬼が投げたという「投石」、特上のノリが採れたという「御幣島」、水が直接海に流れ落ちる「白糸の滝」、岩の上で舞いを舞ったという「舞台島」、洞窟内にこうじを入れ、神酒を造ったという「室師の窟」、そして竜に形が似ている「竜ケ島」など、枚挙にいとまがありません。

今は奇岩怪石の景観が感動を与えますが、ここには私たちの知らない歴史が潜んでいるように思えてきます。そしてそれが、男鹿の神秘性に結びついていくような気がします。

皆さんの声をお待ちしています

広報に皆さんのご意見やお手紙、かわいい子どもの写真などをお寄せください。また、身近で「こんな事がありました」、「こんな活動しています」、サークル紹介などの情報もお待ちしています。
※頂いたご意見やお手紙、情報などは広報誌の特性上掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

〒010-0595　男鹿市役所企画政策課広報統計係
TEL 0185－23－2111　内線3107
FAX0185－23－2922
Eメール p_relations@city.oga.akita.jp

市の人口と世帯数

（平成17年3月31日現在）

◆人　口　36,258人
男＝17,191人
女＝19,067人

◆世帯数　13,225世帯

（住民基本台帳による）

地区	人口	世帯数
船　川	8,438 人	3,353 世帯
椿	1,068 人	390 世帯
戸　賀	693 人	294 世帯
北　浦	3,883 人	1,472 世帯
男鹿中	1,708 人	698 世帯
五里合	2,084 人	645 世帯
脇　本	5,312 人	1,869 世帯
船　越	5,804 人	2,086 世帯
若　美	7,268 人	2,418 世帯

編集うらばなし

▼春、といえば入進学シーズン。わが家の新一年生も、毎日元気に小学校に行っています。わが子に負けないようにがんばって良い広報を作りたいと思います。取材の際にはよろしくお願いします。（原）
▼待ちに待った春。プロ野球中継も始まり、テレビから離れられなくなる季節になりました。小中学校のグラウンドでは練習に励む姿が見られるようになり、市内にも球春到来といった感じです。（貴）
▼先日、小学校の入学式へ初取材に行きました。私も社会人一年生。見るもの聞くことすべてが勉強の日々です。よりよい広報を皆さんに届けられるように頑張りますので、よろしくお願いします。（黒）